

報道関係者 各位

2023年5月8日

## 響き合う世界の音楽、友好のメロディ 音楽の祭日 2023 in みんなく

「音楽の祭日」は、プロ・アマを問わずにみんなで音楽を楽しむイベントです。フランスで1982年にはじまった「音楽の祭典」にならい、日本では2002年に関西からスタートしました。「音楽は全ての人のもの」という精神にのっとり、1年のうちで昼が一番長い夏至の前後の日で開催されます。本年、みんなくでは6月11日(日)に開催いたします。

### ■「音楽の祭日」とは・・・

フランスで1982年に文化事業振興の目的で生まれた「音楽の祭典」。現在、ヨーロッパを中心に世界110か国以上で開催されています。「音楽はすべてのひとのもの」という理念に基づいて夏至の日に、賛同を得た各会場で行われる音楽イベントです。

日本でも2002年から日本事務局が中心となり、音楽をとおして各種文化施設で参加無料の音楽会が開催されてきました。国立民族学博物館における「音楽の祭日」の開催は2003年以来、通算20回目になります。

### 【開催概要】

イベント名	音楽の祭日 2023 in みんなく
日時	2023年6月11日(日) 10:30~16:30(開場10:00)(2部制)
会場	国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂)
主催	国立民族学博物館
主管	音楽の祭日 Fête de la Musique au Japon 日本事務局
実行委員長	福岡正太(国立民族学博物館 教授)
参加方法	・参加無料 ・各部定員400名(事前予約300名、当日受付100名) <b>事前予約</b> ※受付期間:5月11日(木)10:00~6月5日(月)16:00 ※定員になり次第受付終了 ※会場参加は各部ごとにイベント予約サイトまたは電話でお申込が必要です(代表者含め2名までお申込可能) <b>当日受付</b> ※本館2F会場前にお越しください ※各部開演20分前から入場整理券を配布



上記写真2点:2022年開催の様子

【音楽の祭日 2023 プログラム】別紙をご参照ください。

会場：みんぱくインテリジェントホール（講堂）

プログラム出演No	開始時刻	終了時刻	団体名	音楽の内容
開会式	10:30	10:35	開会式 1部	
1	10:35	11:00	Na Piobairi Fraoigh	小型バグパイプのヒュンメルヒェンと 擦弦楽器ハーディガーディで、中世・ルネッサンスダンス曲等を演奏します。
2	11:00	11:25	カツィーナ	北米先住民に伝わる木製の縦笛インディアンフルートを中心に、インディアンに関連する曲を演奏します。
3	11:25	11:50	Gato Negro	フラメンコ。喜び、悲しみ、哀愁、宴、楽しみ、家族への想い・・・、色んな思いが込められた曲をご紹介します。
4	11:50	12:15	20/100	世界の様々な楽器や教育用楽器、オリジナル楽器を用いて「路線図作曲」による音楽をお届けします。
5	12:15	12:40	Choro D	ボサノバを中心に、ブラジル音楽やポップスをクラリネット、エレガットギターで演奏します。
6	12:40	13:05	チャンドラ・バスカラ、パドマサリ、アルジュナ・スリカンディ	バリ島のガムラン。舞踊はパドマサリとアルジュナ・スリカンディ。
	13:05	13:10	実行委員長挨拶	
	休憩13:10~13:50			
	13:50	13:55	実行委員長挨拶 2部	
7	13:55	14:20	ロボットバンド	クラシック曲や世界の童謡・唱歌を中心に、ロボット数体でベルやその他の打楽器を演奏します。
8	14:20	14:45	ヒノト	インドの民族楽器ディルルバを広める活動を行っています。独自に作曲したポピュラー音楽を演奏します。
9	14:45	15:10	加藤 一風	現在尺八は日本よりも世界で流行しています。古代から現代、日本から世界まで色々な尺八をご紹介します。
10	15:10	15:35	南米先住民ドラム カーハと歌う歌	北アルゼンチン先住民による、カーハと呼ばれる手持ちの小さなドラムと歌う根源的な力強い歌のグループです
11	15:35	16:00	松下力也	唢呐（スオナア）と中国笙、対称的な音色を持つ2つの中国管楽器による演奏をお届けします。
12	16:00	16:25	太鼓集団 烈火	数種類の和太鼓や和楽器をつかって演奏します。力強い和太鼓の響きをお楽しみください。
閉会式	16:25	16:30	閉会式	